

# ビタミンK2シロップの 予防投与についてのご案内

(商品名：ケイツーシロップ)



## 『赤ちゃんへのケイツーシロップと投与方法について』

(参考) 日本産婦人科医会  
新生児の出血性疾患予防のためのビタミンK投与方法について

ケイツーシロップは、赤ちゃんに起こりやすい出血を防ぐためのお薬です。ケイツーシロップ1 mL あたり、ビタミンK2を2 mg 含んでいます。

日本の多くの産科施設では、赤ちゃんに対してケイツーシロップを合計3回(出生後、生後1週、生後1ヵ月時)、各1回1 mLを投与して、ビタミンKの欠乏を防いでいます。この方法でほとんどの赤ちゃんのビタミンK欠乏を予防できますが、中には3回投与してもビタミンK欠乏性出血症を発症する赤ちゃんがいるので、生後3ヵ月まで毎週1回ケイツーシロップを投与する方法も勧められています。当院でもビタミンK欠乏をより確実に予防するために3ヵ月法を採用しています。

ビタミンKは  
どうして必要なの？

血管が傷ついた時、出血を止めるためには、血液を固めるために必要な物質「ビタミンK」が不可欠です。ビタミンKが欠乏すると出血が止められません。大人は大腸の中にいる細菌(腸内細菌)が作ったビタミンKを利用できますが、お腹の中にいる赤ちゃんは必要なビタミンKを胎盤を通してお母さんから受け取っていました。しかし、ビタミンKは胎盤を通りにくいため、生まれてきた時の赤ちゃんの体の中には、大人の5分の1の量のビタミンKしかないといわれています。また、生まれてからもすぐには十分な量の腸内細菌が住みつかないので、母乳やミルクからビタミンKを摂る必要があります。



ビタミンK2シロップを  
予防投与すると、どのくらいの  
確率で出血症を防ぐ  
ことができるの？

## 『新生児ビタミンK欠乏性出血症』

生まれてから7日までに起こります。特に生後2～4日目に起こりやすく、消化管での出血が多いため、血を吐いたり、便に血が混じったりします。

最近の調査で、生まれた直後の赤ちゃんに適切にビタミンKを投与することで、生まれてから1週の間に起こるビタミンK欠乏性出血症をほぼ完全に防ぐことができると報告されています。

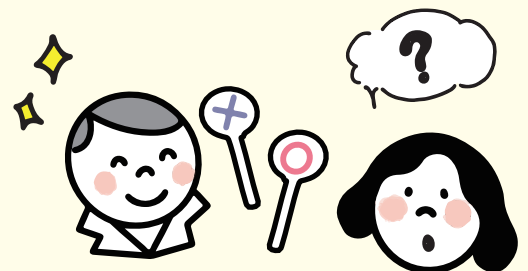
## 『乳児ビタミンK欠乏性出血症』

生まれてから3週～3ヵ月の間に起こります。この時期の出血症では、8割以上が頭の中に出血するため、不機嫌、嘔吐、けいれんなどの症状が見られます。

初めに述べた3回のビタミンK投与の普及で、約5万人に1人となり、発症する割合は10分の1に減りました(1991年)。また、週1回ビタミンKを予防投与された赤ちゃんの中から乳児ビタミンK欠乏性出血症の発症がみられなかったという報告もあります。

## 『ケイツーシロップ投与スケジュール』

- ・ 病院では入院中に2回、1ヶ月健診で1回ケイツーシロップを内服させます。退院後はご自宅で1週間毎に計10回内服させます。
- ・ 退院時に10回分のケイツーシロップをお渡しします。  
※10回分3,300円(税込)となり1ヶ月健診分を除きます。
- ・ 投与スケジュールは別紙でご案内しますのでご確認ください。
- ・ 追加の使用でケイツーシロップが足りなくなった場合は、当院小児科外来に連絡してください。  
※1回分330円(税込)となります。



裏面にQ&Aがあります→



# ビタミンK 2シロップの 予防投与についてQ&A



**Q. 飲んだ後に吐いてしまいました、どうすれば良いですか？**

A. 再度内服させる必要はありません。



**Q. 内服する際にこぼしてしまいました。そのまま内服させても良いですか？**

A. 少量のみの場合は大丈夫です。半量以上こぼしてしまったと思われる場合は新しいシロップを内服させてください。

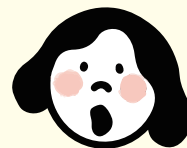
★不足分は病院にて購入可能ですので、小児科外来にお声かけください。紛失時、破損時も同様です。



**Q. 内服させるのを忘れてしまいました、どうしたらいいですか？**

A. その次の予定の内服日から再開してください。

★内服スケジュールの最終日から1週追加して内服をしてください。



**Q. 間違えて水曜日以外の曜日で内服してしまいました、次の内服はどうしたら良いですか？**

A. 内服忘れの項目と同じように、次回内服を再開してください。



**Q. 内服したことに気が付かず、2回分内服してしまいました。**

A. 心配しなくても大丈夫です。次週も予定通り内服してください。

★必要量を内服した事に変わりはありませんので、最終内服分(13回目)の内服は不要です

ご不明点がございましたら、遠慮なくスタッフまで  
ご質問ください！



成城木下病院  
Seijo Kinoshita Hospital